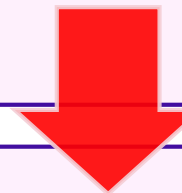




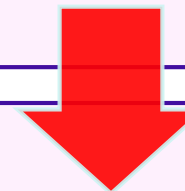
岡崎市中央図書館 大量アクセス事件

事件概要

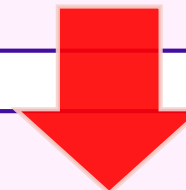
男性が同図書館のWebサイト
からデータを取得するための
プログラムを作成・実行



Webサイトにアクセス障害発生



業務妨害として誤認？逮捕



図書館のシステムに問題が発覚

男性と図書館の見解

男性

- ▶ プログラムに問題はなく、システムに影響を与えるものではない。
- ▶ 図書館のシステムに不具合があるのでは？
- ▶ 謝意はある。
- ▶ 嫌疑不十分ではなく起訴猶予であることに疑問。

図書館

- ▶ 図書館の対応に問題はない
- ▶ 通常利用ではないから不具合がおきた。

情報技術の進歩による問題

- ▶ 情報技術に関する法や制度の欠如
(実例) 具体的な規則がないので、男性の利用が一般利用にあたるか判断できない。
- ▶ 情報技術に関する知識のギャップ
(実例) 男性を含む専門家と、図書館や警察との間で見解の相違が生まれた。

参考文献

- ▶ Librahack : 容疑者から見た岡崎図書館事件

<http://librahack.jp/>

- ▶ Jcastニュース

<https://www.j-cast.com/2010/09/02074918.html?p=all>